

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。取扱説明書をよくお読みの上、正しく安全にお使いください。ご使用前にパッケージ中折面の“安全に関して及び保証規定”を必ずお読みください。

取扱説明書・パッケージとご購入日がわかるレシート、販売証明書、伝票等を一緒に保管してください。

ワイヤレス

防雨型人感センサー

315MHz帯 特定小電力

microSDカード録画式



要保存

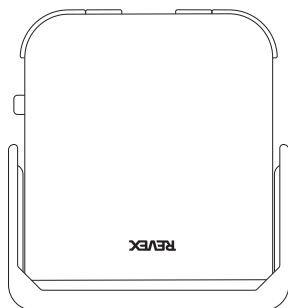
品番 SDX1050AG SDX1000 SDX50AG

受信撮影カメラセット取扱説明書

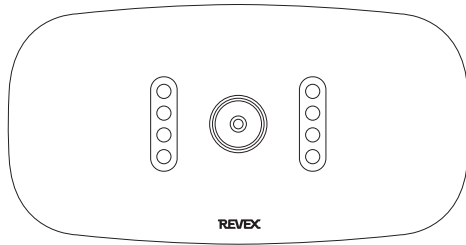
人感センサー送信機 (SDX50AG) と受信撮影カメラ (SDX1000) のセット・増設用 SDX1000・SDX50AG 単体説明書兼用
 ※電池は付属していません。ご使用になる前に送信機用の単4形アルカリ乾電池3本と、受信撮影カメラ用の単3形アルカリ乾電池3本を別途お買い求めください。
 ※撮影データ保存用のmicroSDカードは付属していません。
 ※撮影したデータはパソコン以外で確認できません。
 ※電波の飛距離は屋外見通し最大100mですが、送信機・受信機の設置環境により短くなります。

重要なお知らせ

- 1 本製品は、盗難防止機具・犯罪防止機具ではありません。本製品の動作の正常・異常にかかわらず、犯罪・事故が発生した場合の損害について弊社は一切責任を負いかねますので予めご了承ください。
- 2 本製品は総務省、電波法技術基準適合品です。総務省の許可なしに改造して使用すると、法律により罰せられます。
- 3 本製品は心臓ペースメーカーや特殊な医療機器には影響しませんが、安全管理のため送信機を対象機器から50cm以上離してご使用ください。
- 4 本製品を使用する際は、パッケージ中折面の【安全上のご注意】、【使用上のご注意】をよくお読みください。
- 5 本製品の保証に関しては、パッケージ中折面の【保証規定】をよくお読みください。



人感センサー送信機
(SDX50AG)

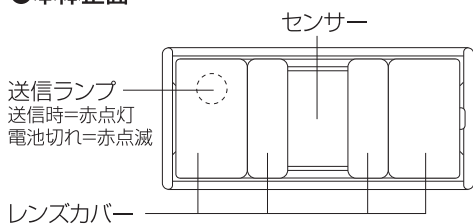


受信撮影カメラ
(SDX1000)

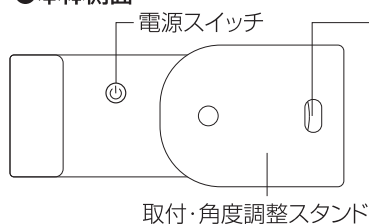
1.各部の名称と説明

■人感センサー送信機 (SDX50AG)

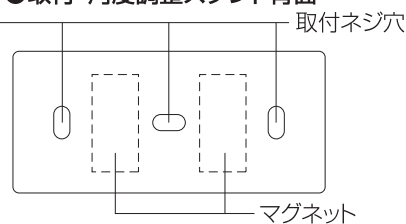
●本体正面



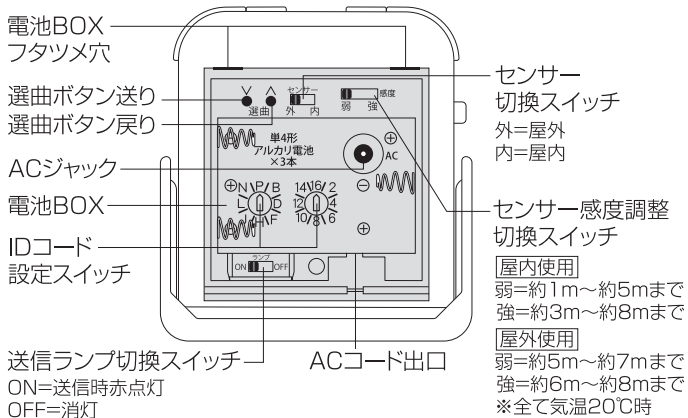
●本体側面



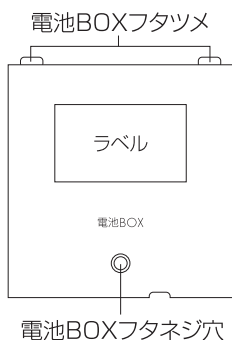
●取付・角度調整スタンド背面



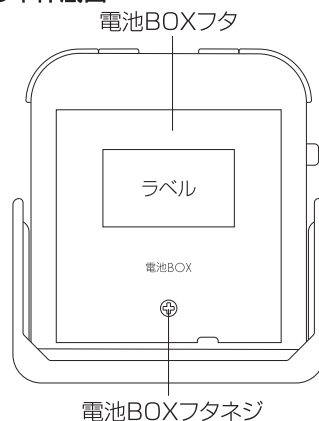
●本体底面 (電池BOXフタを開けた状態)



●電池BOXフタ

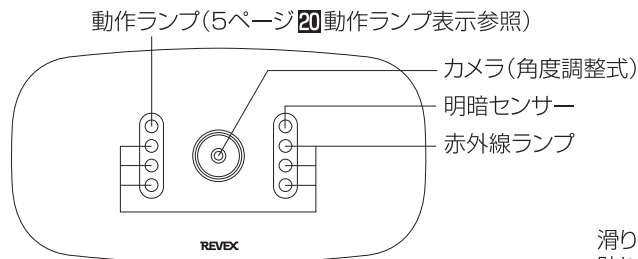


●本体底面

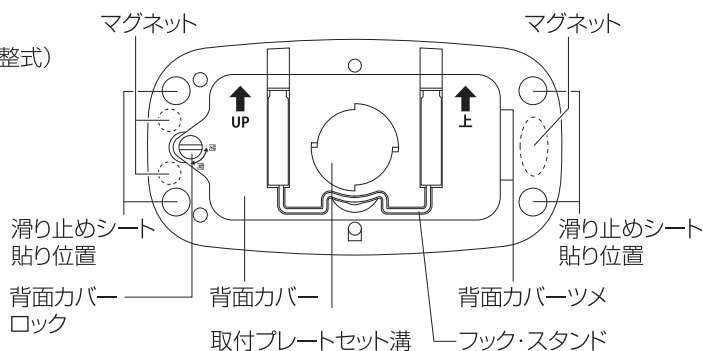


■受信撮影カメラ(SDX1000)

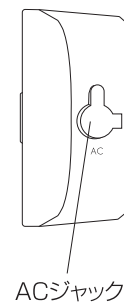
●本体正面



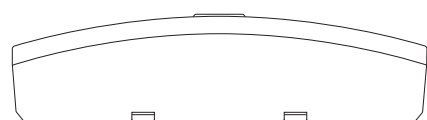
●本体背面



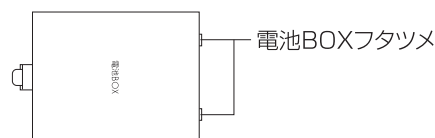
●本体側面



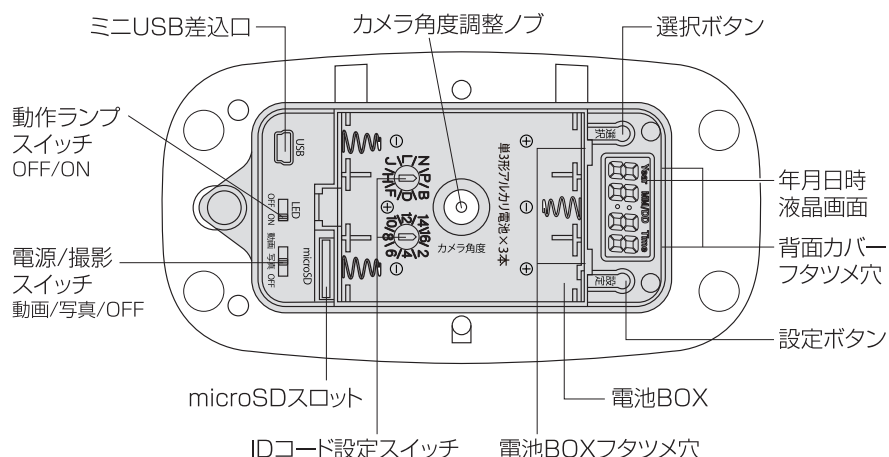
●本体上面



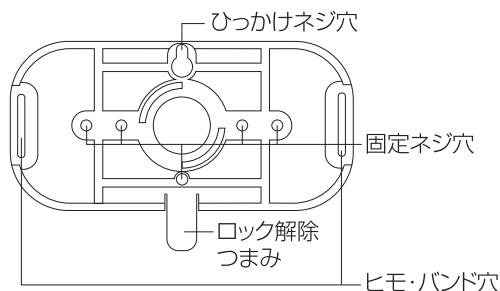
●電池BOXフタ



●本体背面(背面カバーと電池BOXフタを開けた状態)



●取付プレート(裏)

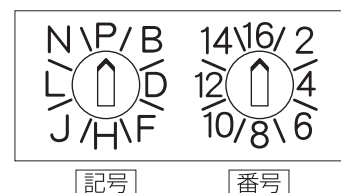


■IDコード設定スイッチ部分

付属の「IDコード設定スイッチ切換用(ー)ミニドライバー」を使用し、任意の[記号-番号]に設定します。

※送信機・受信機共に同じ[記号-番号]に合わせます。

※[記号-番号]の間の線もひとつのコードです。



付属のIDコード設定スイッチ
切換用(ー)ミニドライバー

■付属品

※電池BOX内またはパッケージ内に入っています。

人感センサー送信機(SDX50AG)用 受信撮影カメラ(SDX1000)用

取付用 両面テープ ×1

取付用 ネジ ×2

取付用 リブ ×2

取付用 両面テープ ×1 セット

USBケーブル ×1

滑り止めシート ×1

取付用 ネジ ×2

取付用 リブ ×2

共通

IDコード設定スイッチ切換用(ー)ミニドライバー ×1

取扱説明書

※「IDコード設定スイッチ」は送信機・受信機共通です。 ※「IDコード設定スイッチ」を変更するときは、ゆっくり、カチカチと回してください。

※IDコードは256通りの組み合わせができます。[A~P]/[1~16] (16通り×16通り)で256通りになります。

[記号-番号]はコードの矢印の位置を特定するために付けています。

2.使用する前に

※この取扱説明書は SDX1050AG (送受信機セット)、増設用 SDX1000 (受信機)、SDX50AG (送信機) 兼用となっております。

■ SDX1050AG (送・受信機セット)をお買い上げ頂いた場合は、すぐに使用できます。

ご注意 SDX50AG 単体・SDX1000 単体では使用できません。

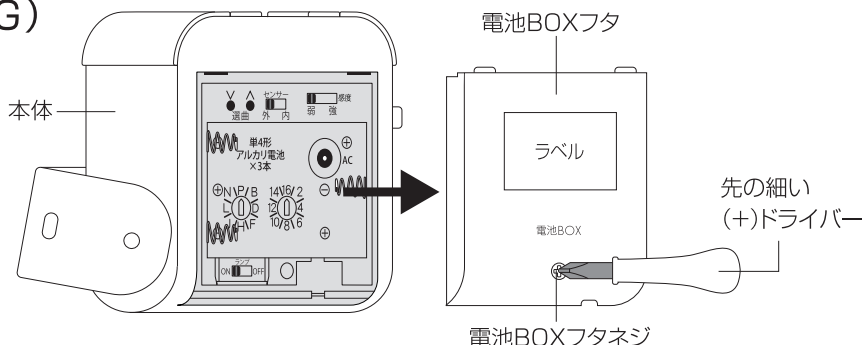
3.使用方法

用意する物

人感センサー用新品単4形アルカリ乾電池3本または専用ACアダプターX0505・X0505B (別売)、受信撮影カメラ用新品単3形アルカリ乾電池3本または専用ACアダプターX0505・X0505B (別売)、32GBまでのmicroSD/microSDHCカード、パソコン(対応OS:windows:7/8/10・macOS:10.6.8~)、先の細い(+)ドライバー(精密ドライバー等)、(+)ドライバー(ネジで取り付けする場合)

■人感センサー送信機(SDX50AG)

- 1 本体底面の「電池BOXフタネジ」を先の細い(+)ドライバーでゆるめ、「電池BOXフタ」を開けます。



- 2 「IDコード設定スイッチ」を任意の「記号-番号」に合わせます。出荷時は「記号-番号」が「P-16」の向きになっています。付属の「IDコード設定スイッチ切替用(-)ミニドライバー」を使用して、ゆっくり、カチカチと回してください。

重要

- ① 初期設定のIDコード「P-16」の向きのまま使用しますと、ご近所で使用している電波と混信し、送信機が動作していないのに、カメラが動作することがあります。これは同一のIDコード使用による混信のためです。混信を避けるためには、必ずお客様独自のIDコードに設定してください。
- ② 「IDコード設定スイッチ」は送信機側、受信機側の「記号-番号」が少しでもズレていると動作しませんのでご注意ください。

- 3 新品の単4形アルカリ乾電池3本を(+)(-)の向きを間違えないように入れます。
※専用ACアダプターを使用する場合は11ページ、「4.ACアダプター(別売)」を使用する場合」をお読みください。

- 4 「送信ランプ切替スイッチ」を「ON」にします。「OFF」にすると送信ランプは点灯しません。
※「送信ランプ切替スイッチ」が「OFF」でも電池切れ表示は表示されます。

- 5 「電源スイッチ」を押すと、本体正面の「送信ランプ」が約30秒点滅して電源が入り待機状態になります。もう一度押すと電源が切れます。

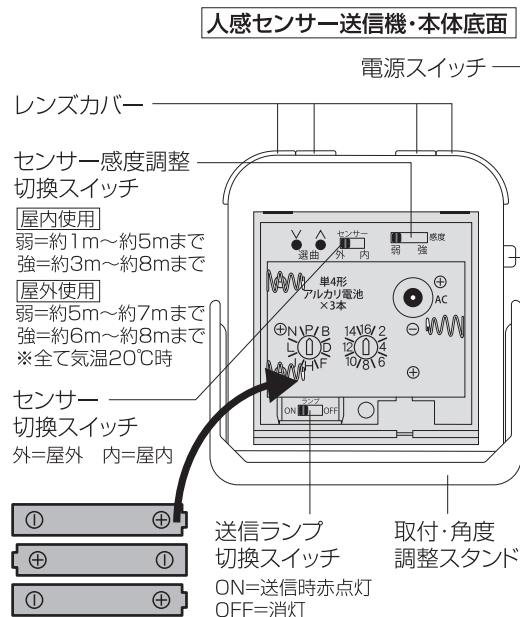
- 6 「センサー切替スイッチ」で人感センサー送信機を屋外で使用するか屋内で使用するかを切り換えます。※注1

- 7 「センサー感度調整切替スイッチ」でセンサー感知距離を屋内使用は「弱」=約1m~約5mまで/「強」=約3m~約8mまで、屋外使用は「弱」=約5m~約7mまで/「強」=約6m~約8mまで調整することができます。※注1

- 8 「レンズカバー」でセンサー感知範囲の左右方向の幅を約20°~約100°に調整することができます。※注1

- 9 「取付・角度調整スタンド」でセンサーの感知方向を調整することができます。※注1

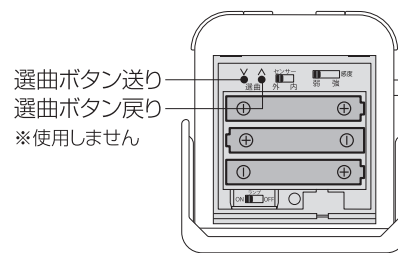
※注1 6~9についての詳細は11ページ、「5.センサーについて」をお読みください。



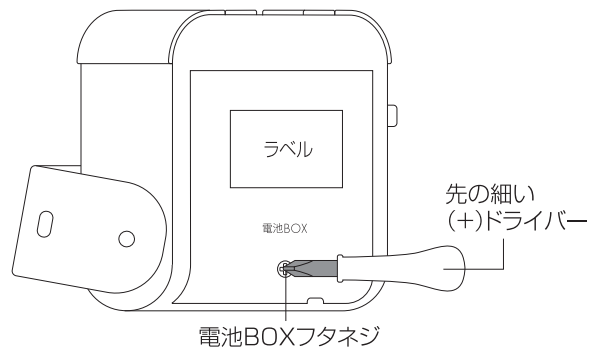
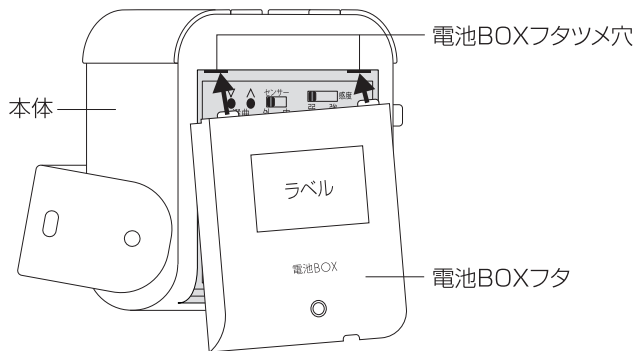
10 「選曲ボタン」について

- ① 本機（受信撮影カメラ）との組み合わせの場合、人感センサー送信機の電池BOX内、「選曲ボタン」「V」（送り）・「^」（戻り）の機能は使用しません。
- ② 初期設定時や電池交換時に誤って「選曲ボタン」を押すと受信撮影カメラが動作します。

人感センサー送信機



- 11 人感センサー送信機の「電池BOXフタツメ穴」に「電池BOXフタツメ」を入れ、しっかりと閉め、先の細い(+)ドライバーで「電池BOXフタネジ」を締めます。



ご注意

「電池BOXフタ」がしっかり閉まっていない状態で屋外で雨や水がかかると故障の原因になります。

■受信撮影カメラ(SDX1000)

12 「取付プレート」の「ロック解除つまみ」を押し、受信撮影カメラ本体を90°回転させて「取付プレート」を外します。

13 本体背面の「背面カバーロック」を「開」の向きに合わせて「背面カバー」を開けます。

14 「電池BOXフタ」を開けます。

15 「電池BOX」の中の「IDコード設定スイッチ」を付属の「IDコード設定スイッチ切替用(－)ミニドライバー」を使用して、ゆっくり、カチカチと回し、**送信機と同じ記号・番号**にします。

16 本体背面「電池BOX」内、「カメラ角度調整ノブ」でカメラの向きを調整できます。

17 新品の単3形アルカリ乾電池3本を(+) (－)の向きを間違えないように入れます。

※専用アダプターを使用する場合は11ページ、「4.ACアダプター(別売)」を使用する場合」をお読みください。

ご注意

電池は全て新品の同一メーカー・同一ロット生産のアルカリ電池を使用してください。異なるメーカーのものを混ぜる、新旧を混ぜて使用する、期限切れの近い電池を使用するなどしますとすぐに電池が使用できなくなります。

18 「microSDスロット」に、新品またはフォーマット済のmicroSD/microSDHCカードを向きを間違えないように入れます。

ご注意

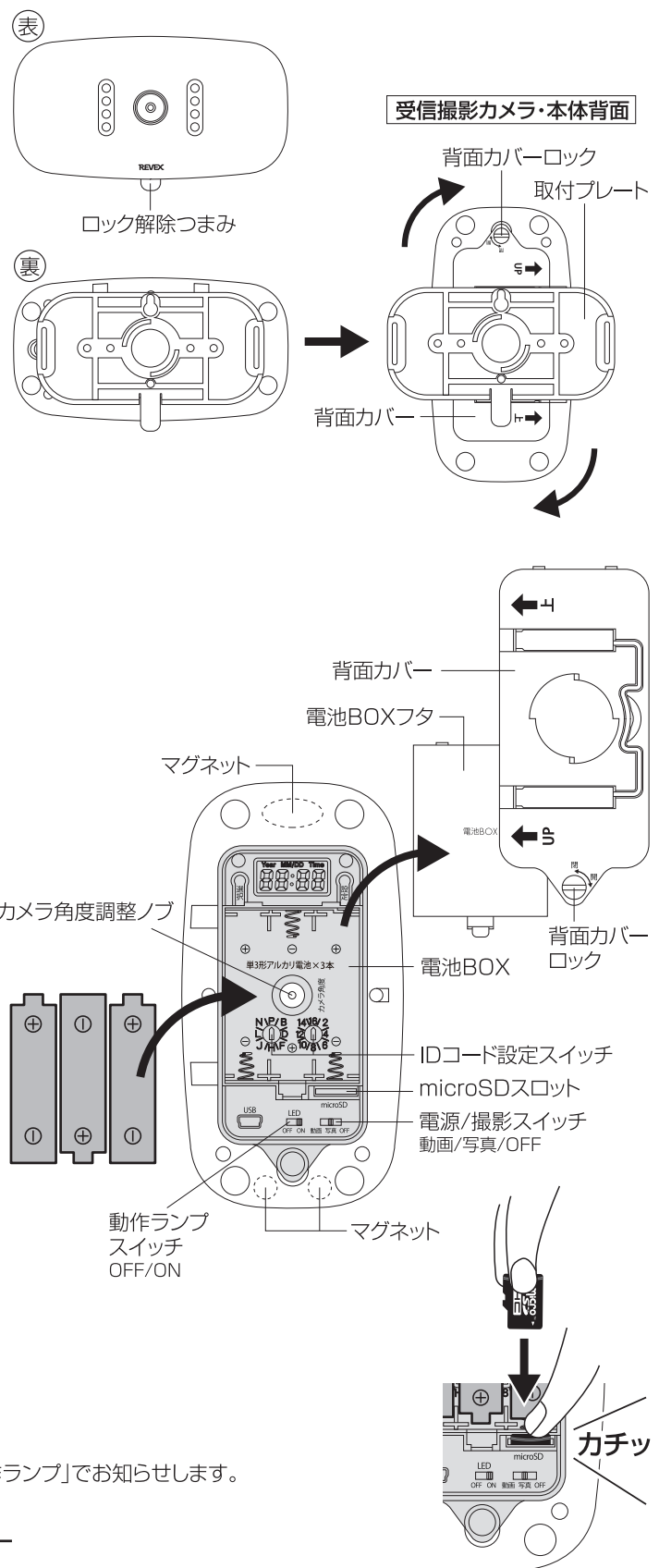
- 1 microSD/microSDHCカードを入れないと正常に動作しません。
- 2 microSD/microSDHCカードは正しい方向で入れてください。逆に入れたり、無理に押し込むと破損の原因となります。
- 3 microSD/microSDHCカードを本体背面のマグネットに近づけないでください。磁気によりデータの消失や破損の原因となります。
- 4 32GBまでのmicroSD/microSDHCカードをご使用ください。

19 「電源／撮影スイッチ」で「動画」／「写真」／「OFF」を選べます。

動画	受信すると15秒間動画撮影します。
写真	受信すると連続3枚写真撮影します。
OFF	電源が切れた状態(年月日時設定は消えません)

20 「動作ランプスイッチ」を「ON」にすると、動作中や異常を本体正面「動作ランプ」でお知らせします。必要がない場合や夜間目立たせたくない場合は「OFF」を選べます。

動作ランプ表示	スイッチ位置と原因
消灯	OFF
赤ランプ5回点滅	写真モード
赤ランプ2回点滅～15秒点滅	動画モード
赤ランプ1回、青ランプ3回点滅	microSDカードが挿入されていない 読み込めないmicroSDカードが挿入された
青ランプ点灯	USBケーブルでパソコンと接続中
青ランプ点滅	USBケーブルでパソコンと接続中に microSDが挿入されていない
赤青ランプ点滅	電池切れ ※「動作ランプスイッチ」が 「OFF」でも表示されます。
緑ランプ点滅	送信機電池切れ



※電池切れをお知らせする赤青ランプ点滅は、電池の残量がランプを光らせる電圧より下がると、まず青が光らなくなり赤ランプだけの点滅になり消えてしまいます。

※microSDカードを抜いた状態で動作ランプが赤のみの点滅をする場合は電池切れです。

※動作ランプが正常に動作していても録画しない場合や、動作ランプが止まってしまう、点滅が止まらない場合は、パソコンでmicroSDまたはmicroSDHCカードをフォーマット(初期化)してください。

※フォーマット(初期化)するとデータは全て消えます。

※安定してご使用いただくために定期的にフォーマットしてください。

21 現在時刻の設定(年、月日、時刻の設定)

※設定の途中で液晶画面が消えた時は「選択ボタン」を約3秒長押ししてください。

① microSDまたはmicroSDHCカードを入れた状態で、「電源／撮影スイッチ」を「動画」にします。「選択ボタン」を約3秒長押しすると、「年月日時液晶画面」が表示されます。

年、月日、時間を設定します。

② 年の設定 [Year表示]

「選択ボタン」を押すたびに1桁移動します(点滅)。「設定ボタン」を押すと数字が増えますので、1桁ずつ設定してください(例:2020年)。

③ 月／日の設定 [MM/DD表示]

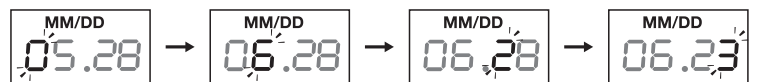
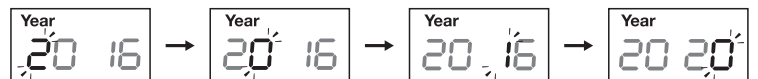
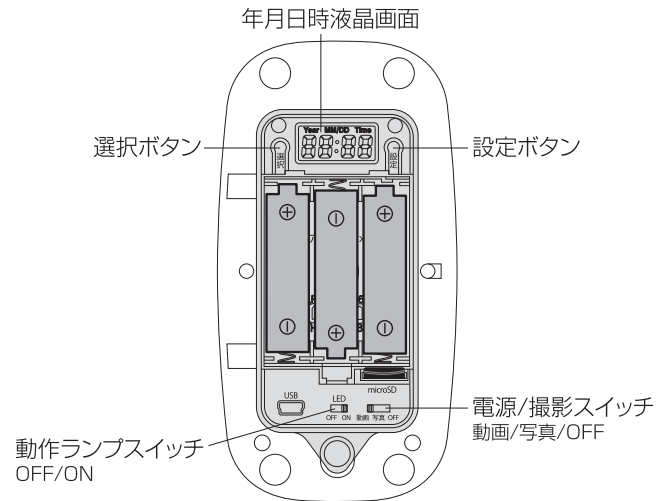
年の設定に続けて「選択ボタン」を押すと「MM/DD」が表示されますので、同様に1桁ずつ月日を設定してください(例:6月23日)。

④ 時刻の設定 [Time表示]

月日の設定に続けて「選択ボタン」を押すと「Time」が表示されますので、同様に1桁ずつ時刻を設定してください(例:14時7分)。

⑤ 設定の完了

時刻の設定完了後にもう一度「選択ボタン」を押すと、現在時刻が4回点滅したあと消えて設定完了です。



※液晶画面の表示は電池消耗を抑えるため、録画動作中のみに表示されます。設定途中に点滅が終了して液晶表示が消えてしまったら最初からやり直してください。また、電池を外して数時間経過した場合は再設定が必要になります。(電池交換時の数分間は設定は保たれます。)

※設定時間内にどうしても時刻設定が完了できない場合、付属のUSBケーブルで本体をパソコンに接続し、液晶画面に時刻を表示させてから、上記①から設定してください。

22 夜間撮影の動作について。

カメラ本体の周囲が明るい場合は通常のカラー撮影です。周囲が暗くなると「明暗センサー」が動き、「赤外線ランプ」撮影に切り替わります。「赤外線ランプ」撮影時は通常のカラー撮影時より画質はかなり低下し白黒になります。

※ガラス面の内側からは赤外線が反射してしまい録画画像が白くなりますので夜間撮影できません。

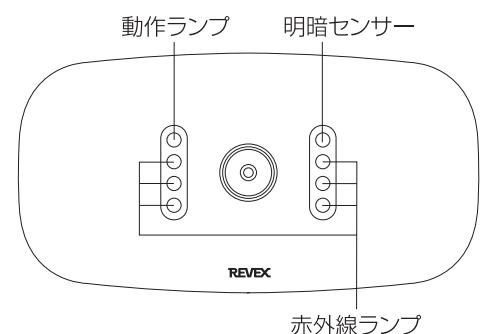
※被写体との距離が近すぎる場合、赤外線が反射してしまい録画画像が白くなることがありますので、取り付け位置や向き、角度を変えてお試しください。

※極端に幅のせまい通路や、すき間に付けて撮影する場合、赤外線が反射してしまい録画画像が白くなることがありますので、取り付け位置や向き、角度を変えてお試しください。

※「動作ランプスイッチ」を「OFF」に設定した場合は、「動作ランプ」表示はされませんが撮影は始まります。

※夜間撮影時、「赤外線ランプ」は赤く光りませんので目立ちません。

※夜間撮影を連続して行くと電池の消耗は極端に短くなります。

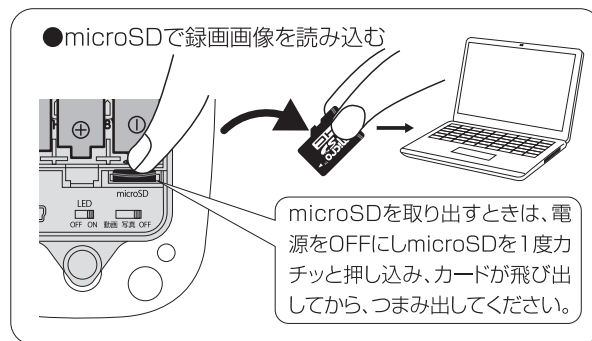
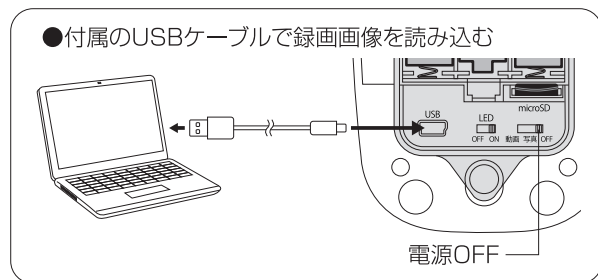


23 画像をパソコンで確認する。

※ご使用になる前に、microSDカードが正常に録画されていることを必ずご確認ください。

対応OS Windows: 7/ 8/10

MacOS:10.6.8～



●動画は下記で再生可能です。

Windows=映画&テレビ・Windows Media Player

Mac=QuickTime Player

ご注意

パソコン以外では再生しないでください。スマホやタブレット、DVDレコーダーなど、パソコン以外で再生しようとするとカメラで撮影できなくなります。

●動画データはAVI形式で保存されますので、AVI形式の再生に対応したアプリケーションをご利用ください。

●本取扱説明書は SDX50AG /SDX1000 について説明する内容となっています。パソコン(Windows・Mac)について最低限の操作(マウス操作やファイルの扱い、データ再生やフォーマット方法など)を習得されていることを前提としておりますので、必要な場合はパソコン(Windows・Mac)の説明書をお読みください。

microSDに録画できる画像の目安(最大32GBまで使用可能)

■ 8GBのmicroSDHCの場合

●1つの動画が5.5MBだとすると、約1,400の動画が保存可能。

●1つの写真が60KBだとすると、約125,000の写真が保存可能。(41,600回)

※写真・動画の保存数は撮影状況、被写体等により変わる場合があります。写真・動画が混在している場合は保存数が変わります。microSDのメーカーによって保存数はことなります。

※microSDまたはmicroSDHCカードに画像がいっぱいになると、古い“日”のデータ(フォルダー)から削除され、新しい画像が保存される上書き方式で保存されます。

※microSDまたはmicroSDHCカードがいっぱいになって動作しなくなったり、上書きしない場合は、パソコンでフォーマット(初期化)してください。

※microSDまたはmicroSDHCカードは定期的にフォーマット(初期化)してください。

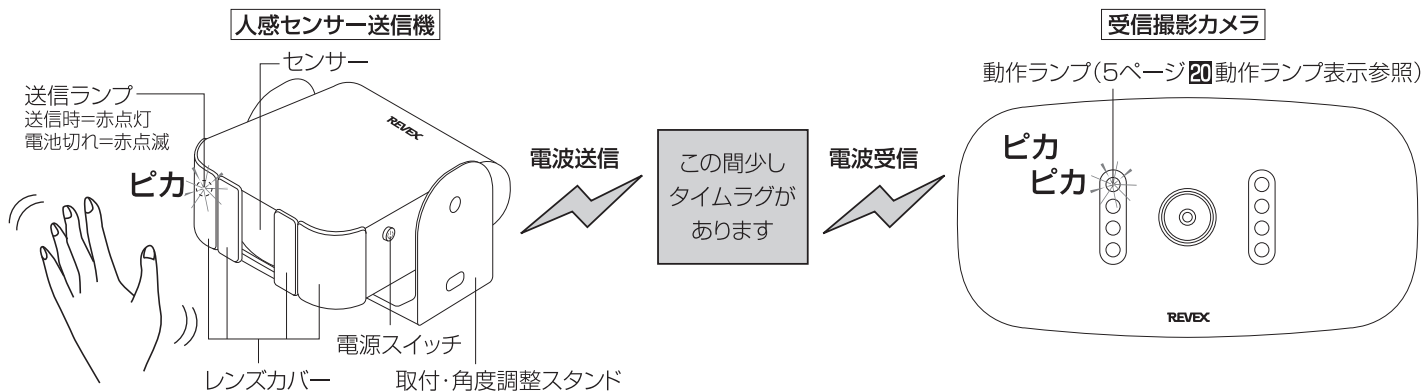
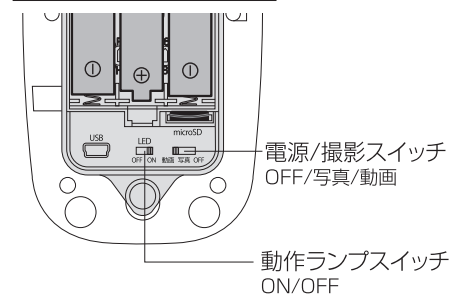
ご注意

フォーマット(初期化)するとデータは全て消えます。

24 動作確認をします。

- ① 4ページ、5ページの10～19で準備した受信撮影カメラの「動作ランプスイッチ」を「ON」、「電源／撮影スイッチ」を「動画」にします。
- ② 人感センサー送信機の本体側面、「電源スイッチ」を押すと、本体正面の「送信ランプ」が約30秒点滅します。
※点滅が終了してもセンサーが安定するまで数分かかる場合がありますので、しばらく待ってから③へおすすみください。
- ③ 人感センサー送信機の本体正面、「センサー」に向かって手をかざすと約4秒間「送信ランプ」が赤く光り送信します。
- ④ 受信撮影カメラが受信すると、本体正面の「動作ランプ」が赤く点滅して15秒間動画を撮影します。「動作ランプ」の点滅が止まり、撮影が終了してから、再度、人感センサー送信機が反応すると撮影が始まります。

受信撮影カメラ・本体背面



25 電池切れについて。

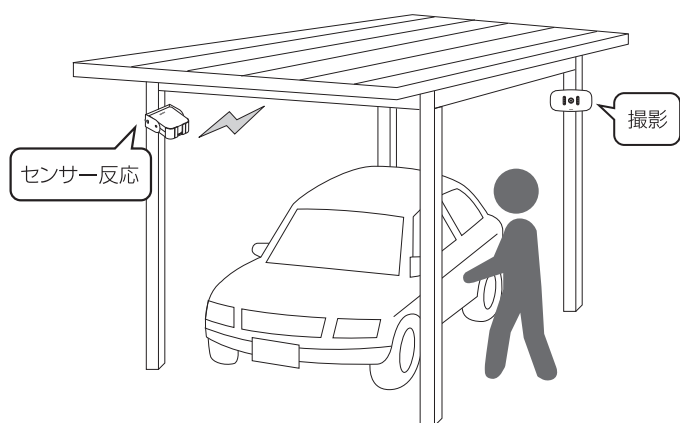
- ① 人感センサー送信機の電池切れ表示は、センサーが反応した時から「送信ランプ」が赤く点滅し続けますので、新しい単4形アルカリ乾電池に3本とも交換してください。また、受信機でも送信機の電池切れが表示されます。受信した時から「送信機電池切れランプ」が緑に点滅し続けます。
- ② 電池切れ表示は人感センサー送信機の「送信ランプ切換スイッチ」や、受信撮影カメラの「動作ランプスイッチ」が「OFF」でも表示されます。
- ③ 受信撮影カメラの電池切れ表示は、受信した時から「受信機電池切れランプ」が赤く点滅し続けますので、新しい単3形アルカリ乾電池に3本とも交換してください。

ご注意

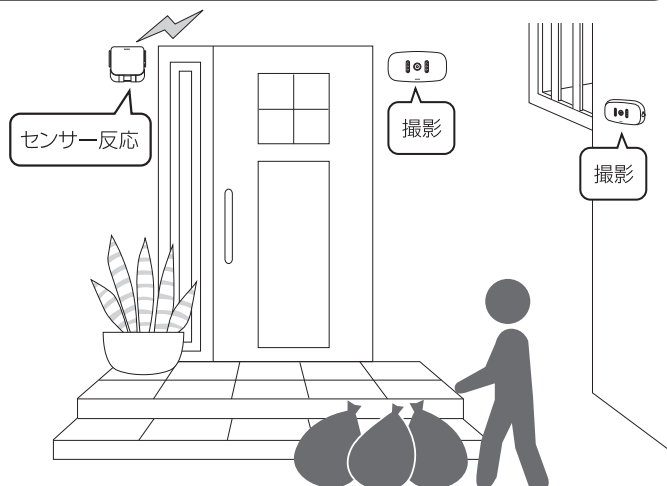
- ① 電池切れは電池切れ表示でお知らせしますが、長期間使用しない場合は定期的に動作確認することをおすすめします。
- ② 電池が電池切れ表示をする残量より下がると、表示や撮影動作をしなくなりますので電池を交換してください。
- ③ 電池寿命は使用環境や設定した撮影モードにより変わります。

使用イメージ

駐車場などの侵入者や不審者の撮影



敷地内での不法投棄や盗難などの撮影



- SDX1050AGを複数セット使い、複数の場所を撮影することができます。
 - SDX1000を1台と複数のSDX50AGを使い広いエリアを撮影することができます。
 - 複数のSDX1000と1台のSDX50AGを使い確実に撮影することができます。
- ※複数の送信機を使用した時に、センサーが同時に反応して電波を送信した場合は電波干渉により受信しないことがあります。

故障かな?と思ったら

① 購入してすぐに動作しない

①-1 受信撮影カメラが撮影しない。

- ⇒32GBまでのmicroSD/SDHCカードをパソコンでフォーマットするか、新しいmicroSD/SDHCカードと交換してください。
- ⇒買ったばかりの同じメーカーで同じ種類のアルカリ乾電池と交換してください。(単3形アルカリ乾電池×3本)

①-2 「IDコード設定スイッチ」(2つの矢印の向き)を変えている場合。

- ⇒送信機、受信機ともに同じ「記号-番号」になっていますか?少しでも違うと反応しません。

①-3 人感センサー送信機の「電源スイッチ」を押して「送信ランプ」赤点滅が終わっても反応しない場合。

- ⇒「電源スイッチ」を押して「センサー」が安定するまで数分かかる場合があります。しばらくお待ちいただいてから動作が始まることを確認してください。

② 使用できていたのに動作しなくなった

②-1 受信撮影カメラが撮影しない。

- ⇒32GBまでのmicroSD/SDHCカードをパソコンでフォーマットするか、新しいmicroSD/SDHCカードと交換してください。
- ⇒買ったばかりの同じメーカーで同じ種類のアルカリ乾電池と交換してください。(単3形アルカリ乾電池×3本)

②-2 人感センサーが反応すると「送信ランプ」は光りますか?

- ⇒「送信ランプ切換スイッチ」が「ON」になっているのに「送信ランプ」が光らない、光が薄い、またはずっと点滅している場合は電池を交換してください。(単4形アルカリ乾電池×3本)

②-3 人感センサー送信機の「電源スイッチ」を押して「送信ランプ」赤点滅が終わっても反応しない場合。

- ⇒「電源スイッチ」を押して「センサー」が安定するまで数分かかる場合があります。しばらくお待ちいただいてから動作が始まることを確認してください。

②-4 気温が高くないですか?

- ⇒人感センサーは赤外線を感知しますので、猛暑日など気温が上がると対象物との温度差が小さくなり、感知距離が短くなります。「センサー感度調整切換スイッチ」でセンサー感度を変更するか、人感センサー本体の取り付け位置を対象物に近づくように変えてください。※注3

③「センサー」が反応していないのに撮影してしまう。

③-1 「IDコード設定スイッチ」(2つの矢印の向きを変える操作)は変更していますか?

- ⇒購入時のまま使用するとご近所で使用しているXPシリーズ・Xシリーズ・XシリーズPREMIUMの電波と混信し、この症状が出ます。IDコードを変更してご利用ください。変更している場合は、今の位置から更に変えてください。

④人がいないのに反応し続けてしまう。

④-1 「センサー」が何かに反応していませんか?

- ⇒人感センサーは、赤外線を感知しますので、人間だけでなく、直射日光、車、車の排ガス、動物や草木の動き、洗濯物、のぼりや旗、街灯、エアコンの室外機等にも反応してしまいます。外気温の変化により、センサーの感知距離や範囲も変化するため、「センサー感度調整切換スイッチ」でセンサー感度を変更するか、人感センサー本体の取り付けの向きや高さ、位置を変えてください。※3

※注3 詳しくは11ページ、「5.センサーについて」をお読みください。

※上記を確認しても改善しない場合は、**現品をお手元にご用意のうえ**下記までご連絡ください。

お客様相談室

TEL : 048-294-4945

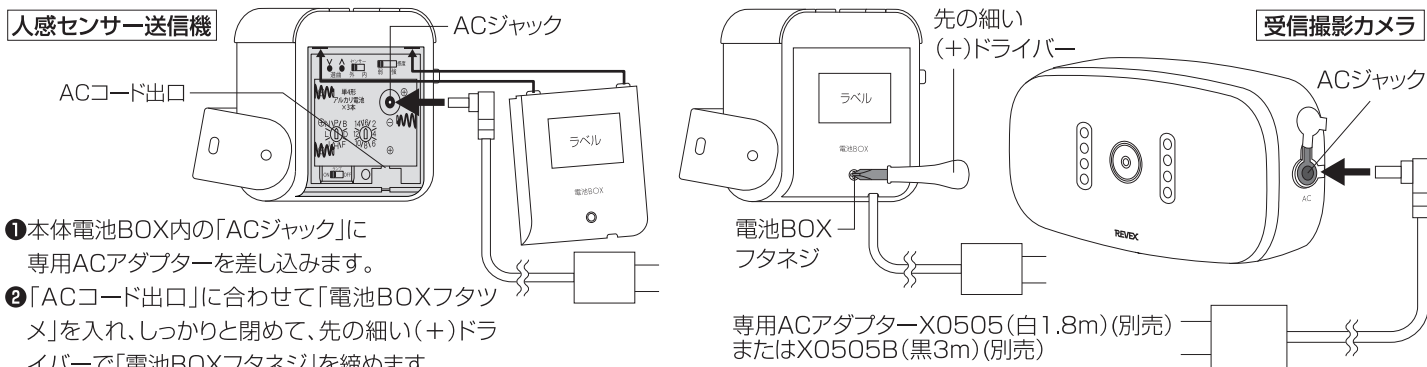
時間 : 月～金 9 : 30～12 : 00 / 13 : 00～17 : 00 土、日、祝日を除く。

4.ACアダプター(別売)を使用する場合 ※専用ACアダプターX0505(白)またはX0505B(黒)をお買い求めください

■別売の専用ACアダプターを使用すると、電池切れを心配することなく使用することができます。

ご注意

- ①電池とACアダプターは絶対に併用しないでください。電池の発熱や液漏れ、故障の原因となります。
- ②ACアダプターは必ず専用の物を使用してください。発熱による火傷や、ショートによる火災の原因になります。



ご注意

- ①「電池BOXフタ」がしっかり閉まっていないと屋外で雨や水がかかると故障の原因になります。
- ②屋外で雨や水のかかる場所で使用する場合、「ACコード出口」が下になるように取り付けてください。(SDX50AG)
- ③受信カメラはACアダプター使用の場合、雨のかかる場所では使用できません。
- ④ACアダプターのコンセント部分は防雨構造ではありませんので雨のかかる場所では使用できません。

5.センサーについて

■センサーは赤外線センサーです。感知エリア内の温度変化を感知して動作するしくみとなっています。感知エリア内で熱(赤外線)を発生する物体(人や動物)が移動することによって作動します。

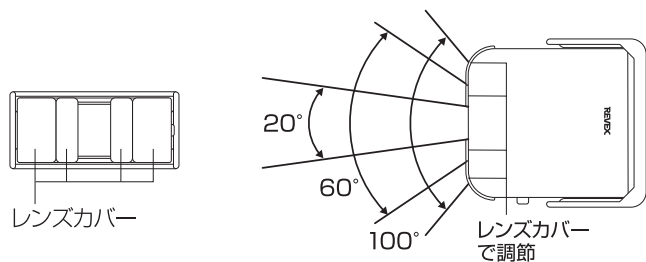
ご注意

- ①赤外線の動きを感知するため、動物(犬や猫)等にも感知する場合があります。
- ②感知エリア内であっても、人が全く動かない場合は感知しない場合があります。
- ③気温と人の体温が近い場合やゆっくりした移動時は感知しにくい場合があります。
- ④センサーに向かって正面より近づく場合は感知距離が短くなる場合があります。
- ⑤屋外使用時に、太陽光による熱線の動きで感知する場合があります。
- ⑥車の動きや排ガス、エアコンの室外機、草木の動きでも感知する場合があります。
- ⑦ガラス越しにはセンサーは反応しません。
- ⑧猛暑日には感度が悪くなる場合があります。

■センサー感知範囲の調整

左右方向 約20°～約100° ※高さ1.5mに設置した場合

レンズカバーで調整します。



感知距離 約3m～約7m ※高さ1.5mに設置した場合/気温20℃時

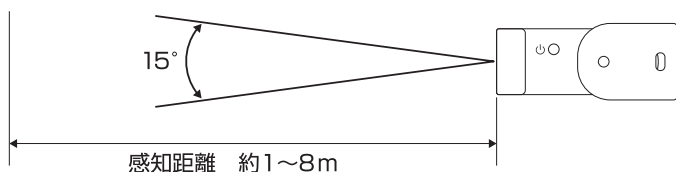
- ①本体底面「電池BOX」内の「センサー切換スイッチ」で使用する場所を選びます。
※「センサー切換スイッチ」でセンサー感度を切り換えることができますので、環境に合わせて切り換えてご使用ください。
- ②「電池BOX」内、「センサー感度調整切換スイッチ」で調整します。

人感センサー送信機・電池BOX内



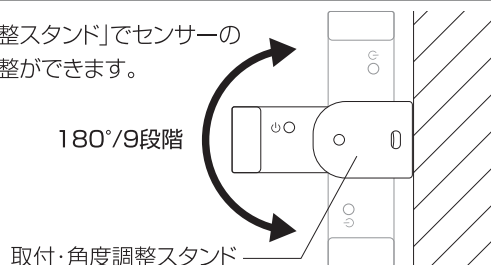
センサー感度調整切換スイッチ
 屋内使用 弱=約1m～約5mまで
 強=約3m～約8mまで
 屋外使用 弱=約5m～約7mまで
 強=約6m～約8mまで
 ※全て気温20℃時

上下方向 約15° ※高さ1.5mに設置した場合



感知方向の調整 ※高さ1.5mに設置した場合

「取付・角度調整スタンド」でセンサーの感知方向の調整ができます。

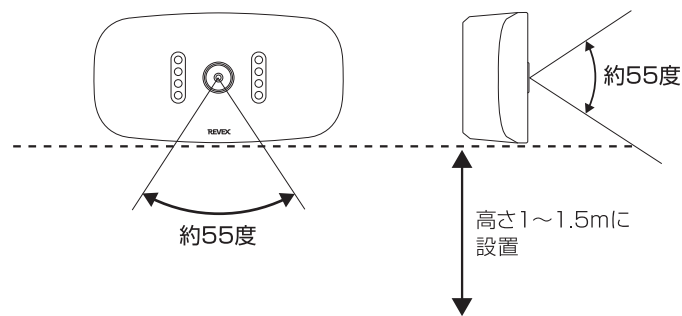


ご注意

- ①人感センサーの感知範囲と感知距離は本体を取り付ける高さにより変わります。
低く設置した場合、感知範囲は狭くなり感知距離は短くなります。高く設置した場合、感知範囲は広くなり感知距離は長くなります。
- ②センサーの感知距離は季節により(外気温の変化により)変わります。「センサー感度調整スイッチ」でセンサー感度を変更するか、人感センサー送信機本体の取り付けの向きや高さ、位置を変えてください。

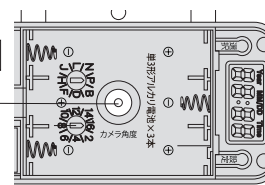
6.カメラの撮影可能範囲

■本体背面、「電池BOX」内にある「カメラ角度調整ノブ」でカメラの向きを調整することができます。



受信撮影カメラ・本体背面

カメラ角度調整ノブ



ご注意

カメラに対して横切る方向に動く対象物は、撮影がスタートするまでにカメラの前にはない場合があります。撮影されないことがあります。この場合、カメラの取り付け位置や向き、角度を変えていただくことをおすすめします。

7.取付け方法

※IDコードを設定し、電池を入れて動作確認が終わってから取り付けてください。

※取り付けようとしている場所で正常に動作するかを確認してから取り付けてください。

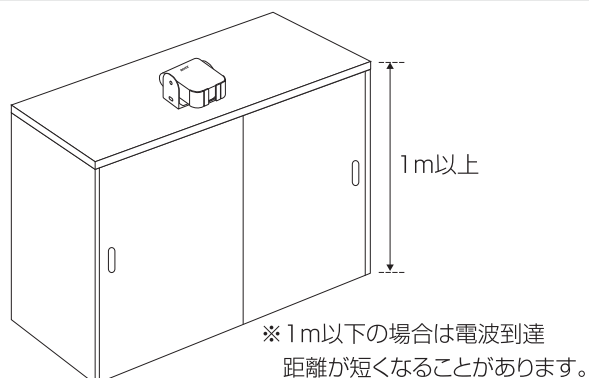
ご注意

人感センサー送信機を取り付ける際は11ページ、「5.センサーについて」のご注意をよく読んで、設置してください。

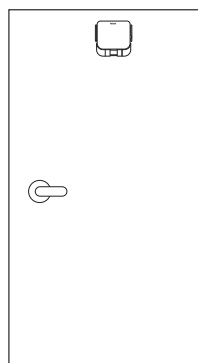
■人感センサー送信機(SDX50AG)

※防塵形・防噴流形(IP55相当)なので雨や水がかかる場所にも取り付けできます。ただし、雨や水のたまる場所では置いて使用できません。

台などに置いて



鉄製のドアやスチール棚などにマグネットに取り付ける



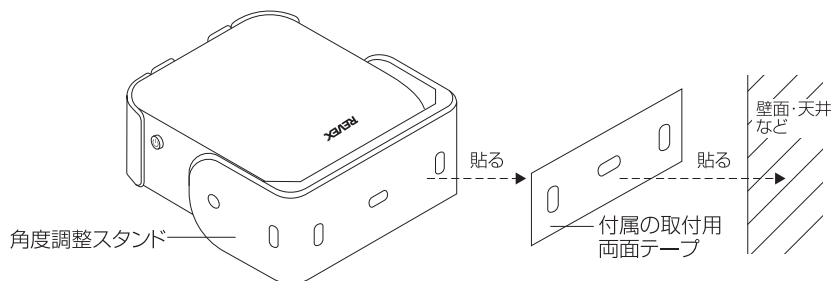
柱・天井・壁・ドアなどに両面テープで貼り付ける場合

①設置したい場所に、付属の「取付用両面テープ」を角度調整スタンドに貼り、貼り付ける面のホコリや汚れなどをきれいに拭いて固定します。

ご注意

ザラザラな面や凹凸のある面には貼り付けできません。

※貼り直す場合や設置場所を変える際は、必ず新しい両面テープを使用してください。両面テープは取付場所に合った市販品をお求めください。



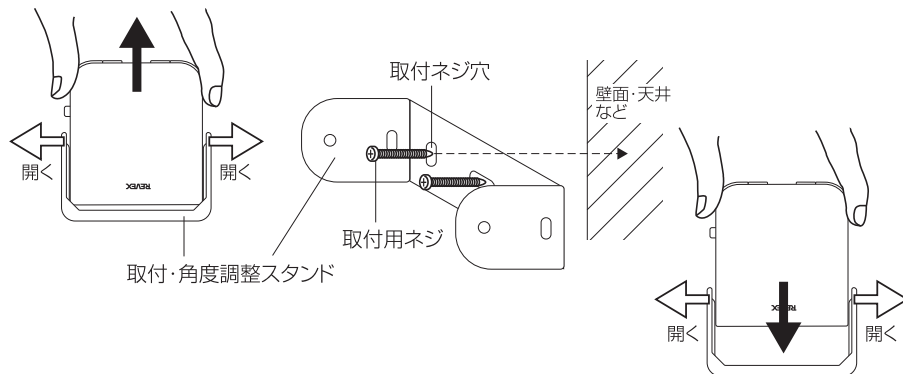
柱・天井・壁・ドアなどにネジで取り付ける場合

❶ 本体から「取付・角度調整スタンド」の枠を少し広げて外します。

❷ 「取付・角度調整スタンド」の「取付ネジ穴」に付属の取付用ネジで固定します。

※サイディングやコンクリート面に取り付ける場合は、5mmの下穴を開け、付属の「取付用リブ」を打ち込み、付属の「取付ネジ」をねじ込みます。

❸ 本体を「取付・角度調整スタンド」の枠を少し広げて取り付けます。

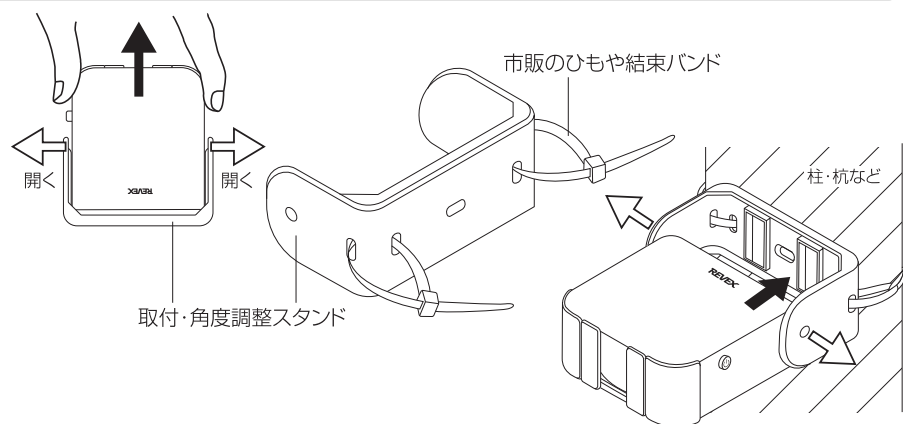


柱・パイプ・杭・フェンスなどにバンドで取り付ける場合

❶ 本体から「取付・角度調整スタンド」の枠を少し広げて外します。

❷ 市販のひもや結束バンド・針金などで「取付・角度調整スタンド」を取り付けます。

❸ 本体を「取付・角度調整スタンド」の枠を少し広げて取り付けます。

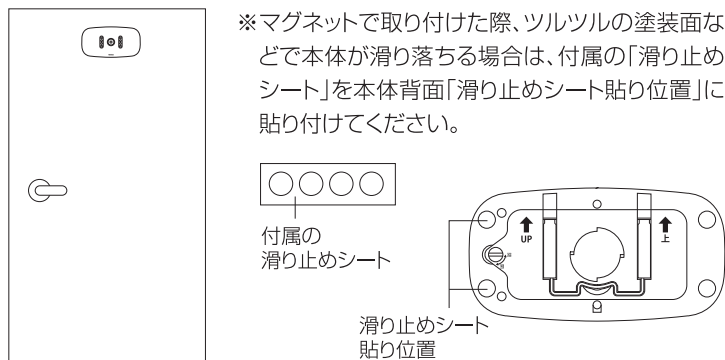


■受信撮影カメラ(SDX1000)

※防水仕様ではありませんので、屋内または屋外軒下の雨や水が直接かからない場所でご使用ください。

※取り付け前に、取り付けようとしている場所でどのように撮影されるかを、本体背面「電池BOX」内の「カメラ角度調整ノブ」でカメラの向きを調整しながら、取り付ける場所をお選びください。

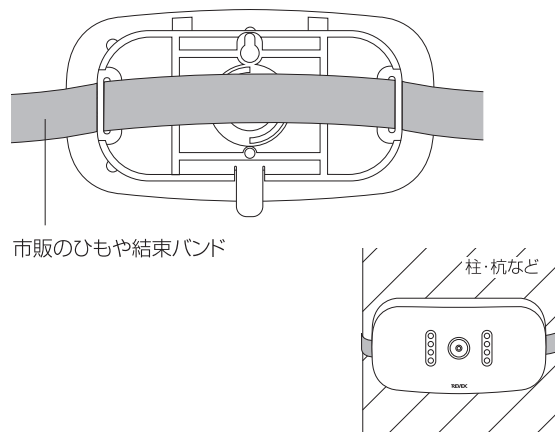
マグネットで鉄製の扉やドア、シャッター等に簡単に取り付ける



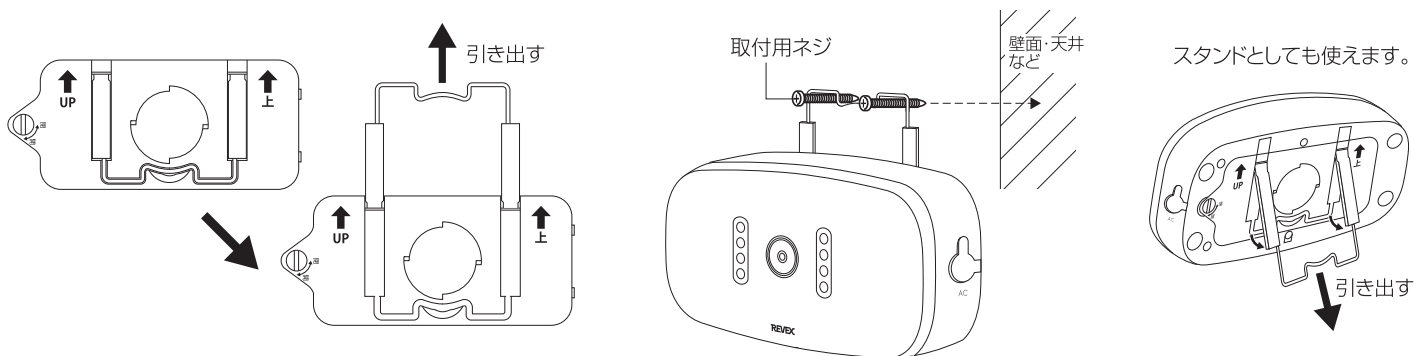
ご注意

- ① マグネットで取り付ける場合、盗難にお気を付けください。
- ② 金属面や金属製品の近くに取り付けると電波到達距離が短くなります。
- ③ 開閉時の衝撃で落下しないようご注意ください。

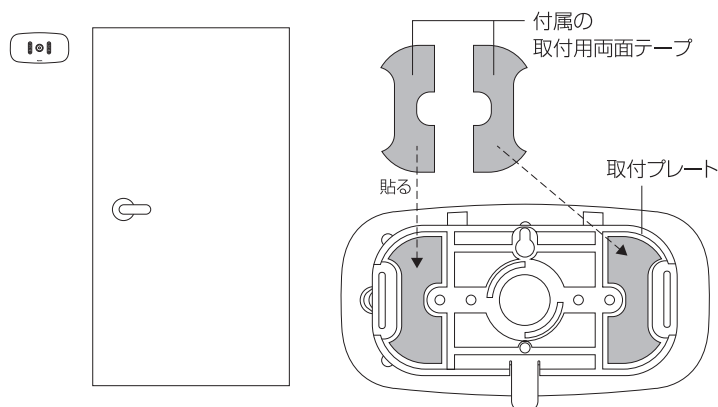
取付プレートにヒモなどを通し、柱や杭に取り付ける



フック・スタンドを使って取り付ける



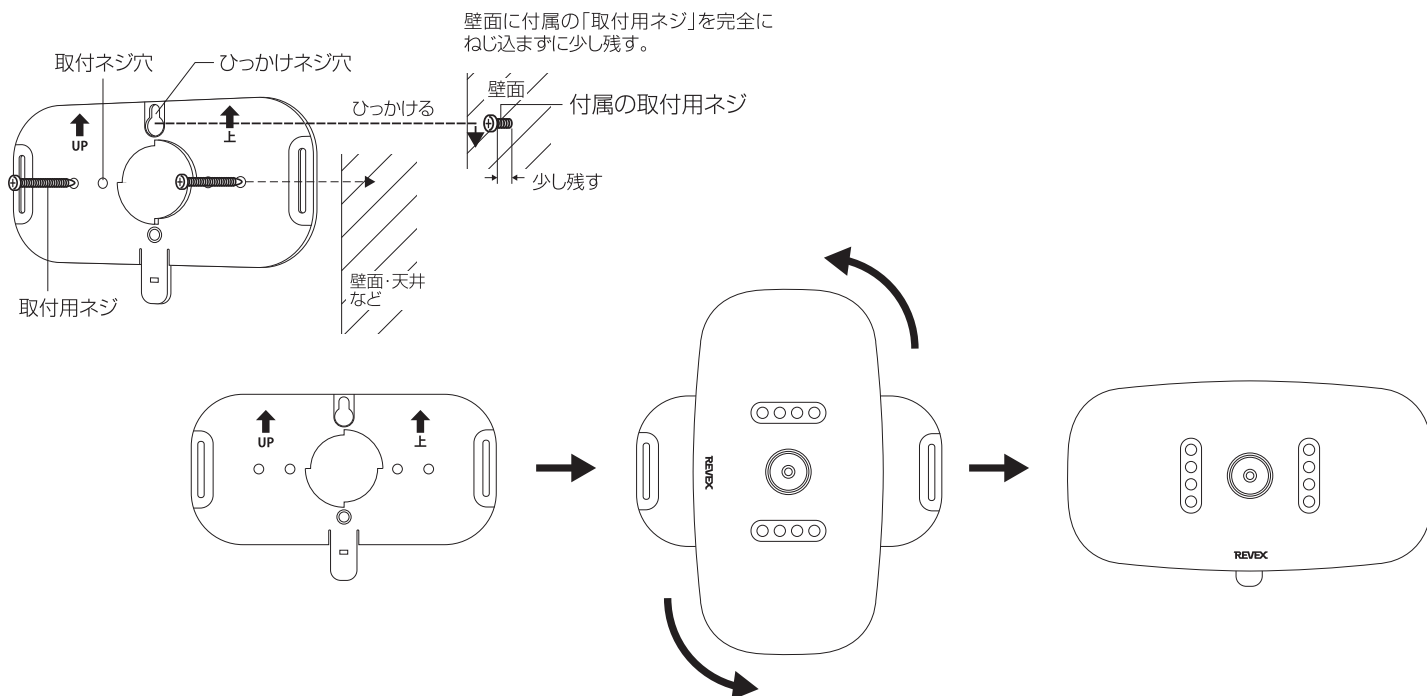
平らな面に付属の両面テープで簡単に取り付ける



ご注意

- ① 貼り付ける面の汚れやほこりをきれいにしてから貼り付けてください。
 - ② ゴラザラな面や凹凸のある面には貼り付けできません。
 - ③ はがすときに両面テープの跡や塗装のはがれ、クロスの破れ等、影響がない場所をお選びください。
 - ④ 両面テープで固定した場合は、「取付プレート」を取り外せなくなりますのでご注意ください。
- ※設置場所を変える際等、新しい両面テープは取付場所に合った市販品をお求めください。

平らな面に付属のネジで取り付ける



※サイディングやコンクリート面に取り付ける場合は、付属のリブをご使用ください。

※上部のひっかけネジ穴だけを使うと、完全に固定せずにひっかけて取り付けることができます。

その際、カメラの盗難にご注意ください。

取り付けの際のご注意

- ① 取り付け位置はなるべく床面から1m以上の高さに設置してください。1m以下の場合は電波到達距離が短くなることがあります。
- ② 受信機は直接雨や水に濡れる場所では使用できません。
- ③ 映像や画像が低下するため、直射日光の影響を受けない場所をお選びください。
- ④ 暗い場所での赤外線ランプ撮影では、カメラの近くに壁や物があると白く光ってしまいますので、取り付け場所にご注意ください。
- ⑤ しっかりと固定してください、落下等でケガや破損の原因になります。落下による故障は保証期間内であっても対象外となります。
- ⑥ 塗装面やクロス面等に取り付ける場合、塗装のはがれやクロスの破れ等に充分ご注意ください。
- ⑦ 石こうボードには取り付けられない場合があります。
- ⑧ ガラス面のすぐ内側や被写体との距離が近すぎる場合、夜間撮影は赤外線が反射してしまい録画画像が白くなります。取り付け位置や向き、角度を変えてお試しください。
- ⑨ 極端に幅のせまい通路や、すき間に取り付けて撮影する場合、赤外線が反射してしまい録画画像が白くなることがありますので、取り付け位置や向き、角度を変えてお試しください。
- ⑩ 本機の取り付けや取り外しの際に生じたクロスのはがれや両面テープの汚れなどにつきましては、当社は一切の責任を負いませんので予めご了承ください。

8.増設について

別売の送信機 (SDX50AG) や受信機 (SDX1000) を増設することができます。

電波の届く範囲内であれば何台でも送信機・受信機の増設が可能です。

■増設方法

送信機、受信機を増設する場合、すべての送信機・受信機のIDコードを同一の「記号-番号」に設定してください。

ご注意

- ① 複数の送信機が同時に動作すると、電波干渉により受信機が動作しないことがあります。
- ② 複数の受信機を至近距離に並べて使用すると、電波干渉により受信しないことがあります。

9.製品仕様

■人感センサー送信機(SDX50AG)

電源	DC4.5V:単4形アルカリ乾電池×3個(別売)、または専用ACアダプターX0505・X0505B(別売)		
電池寿命	約2年(1日10回送信、20℃時)		
電池切れ表示	送信ランプが赤点滅 ※送信ランプ切換スイッチがOFFでも点滅		
電源スイッチ	あり		
送信方法	センサーが反応すると送信		
センサー	赤外線センサー		
センサー感知範囲*	上下方向約15°/左右方向約20°(最小)～約100°(最大) レンズカバーで調整可能 ※高さ1.5m設置時		
センサー感知距離*	屋内使用 約1m～約8mまで 弱=約1m～約3mまで/強=約3m～約8mまで 切換式 ※高さ1.5m設置時/気温20℃時 屋外使用 約5m～約8mまで 弱=約5m～約7mまで/強=約6m～約8mまで 切換式 ※高さ1.5m設置時/気温20℃時		
センサー感知方向	180°/9段階可変		
送信周波数	315MHz帯		
電波到達距離	屋外見通し最大100m/屋内見通し最大50m(SDX1000と組み合わせた場合)		
送信ランプ	送信時に赤ランプが点灯(約4秒間) ON/OFF(切換式)		
IDコード数	256通り:記号・番号スイッチで設定(送信機・受信機を同じIDコードに設定します)		
選曲方法	選曲ボタン▽(送り)、△(戻り)は受信カメラ(SDX1000)には使用しません		
使用エリア	屋内/屋外(切換式) 防塵形・防噴流形(IP55相当)で屋外の雨や水のかかる場所でも使用可能		
使用温度範囲	-10℃～+40℃		
外形寸法	本体:77(W)×83(H)×35(D)mm(取付プレート含む)		
本体質量	約82g(電池を含まない)		

※センサー感知範囲と距離は設置する環境の変化や感知対象により変動します。

■受信撮影カメラ(SDX1000)

電源	DC4.5V:単3形アルカリ乾電池3本(別売)、または専用ACアダプターX0505・X0505B(別売)		
電池寿命	動画=1日15秒を10回録画して約3ヶ月/写真=1日3枚を10回撮影して約6ヶ月		
電池切れ表示	受信機電池切れ/動作ランプが赤青点滅 送信機電池切れ/動作ランプが緑点滅		
電源スイッチ	あり OFF/写真/動画(切換式) ※音声は録音できません		
受信周波数	315MHz帯:設定した同一IDコードのみ受信		
受信可能距離	屋外見通し最大100m/屋内見通し最大50m		
動作ランプ	受信時に赤ランプが点滅 写真=約3秒/動画=約15秒 ON/OFF 切換可能		
IDコード数	256通り:記号・番号スイッチで設定(送信機・受信機を同じIDコードに設定します)		
カメラ	CMOS-30万画素		
レンズ視野角	水平 約55°/垂直 約55° ※高さ1.5m設置時(角度調整式)		
赤外線ブラックLED	約5m 0.25WX6灯 明暗センサーにより撮影時に点灯(5ルクス以下の時) ※夜間撮影時赤く光りません		
録画媒体	32GBまでのmicroSDまたはmicroSDHCカード(別売)		
録画解像度	VGA 720X480		
フレームレート	写真=3fps/動画=8fps		
データ保存形式	写真=jpg/動画= AVI (いずれも上書き方式)		
対応OS	Windows:7/8/10 macOS:10.6.8～		
使用エリア	屋内/屋外軒下 防塵形・防噴流形(IP55相当)※屋外の直接雨や水のかかる場所では使用できません		
使用温度範囲	-10℃～+45℃		
外形寸法	142(W)×74(H)×37(D)mm(取付プレートを含まない)		
本体質量	約150g(電池を含まない)		

※製品の仕様は性能改善などの理由により変更される事がありますので、予めご了承ください。

安全に関して及び保証規定につきましては、パッケージ中折面をお読みください。